

2020年7月8日

暮らし向きや消費の現状、新型コロナウイルスの 家計への影響などに関する調査について

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

[調査の概要]	
調査目的	県民の暮らし向きや収入、支出動向を調査し、消費の現状を把握するとともに、今後の消費がどのように変化していくか見通しを示し、卸・小売事業者などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。また今回は、新型コロナウイルスが県民の家計に与える影響も調査した。
調査時期	2020年6月中旬
調査対象	鹿児島銀行の県内本支店窓口来店者
調査方法	回答者本人が記入(無記名式)
回答数	有効回答数 722人

用語 D.I. = 「良い(良くなる)」-「悪い(悪くなる)」、「増えた(増える)」-「減った(減る)」、いずれも回答割合

【調査結果のポイント】

- 現在の暮らし向きについては「普通」が 71.2%と最も多く、次に「悪い」19.4%（「悪い」と「どちらかという悪い」の合計）、「良い」9.4%（「良い」と「どちらかという良い」の合計）の順となった。その結果 D.I.は▲10.0となり、前回調査（2019年4月）の6.9から16.9ポイント悪化し、**2012年4月の調査開始以来、最低となった。**
- 今後の暮らし向きについて、D.I.は▲38.4と前回調査（▲21.2）から大幅に悪化した。現在の暮らし向きと同じく調査開始以来、最低となり、**現在の暮らし向きよりさらに見方は厳しい。**
- 新型コロナウイルス感染拡大以降の家計支出について、「飲食料品」「日用品」「医薬品」などの支出が増加した一方、「外食・交際費」「交通費・旅費」「衣服・履物費」などの支出は減少した。
- 家計支出で見直したことについて、「特に何もしていない」が 41.0%と最も多く、次いで「食費の節約」（33.6%）、「日用品の節約」（24.6%）が続いた。

回答者属性

【性別】	男性	36.6%	女性	63.0%	不明	0.4%										
【年齢別】	10代	1.4%	20代	18.4%	30代	19.6%	40代	22.5%	50代	20.2%	60代	10.8%	70代以上	6.9%	不明	0.2%
【職業別】	会社員	64.2%	自営	5.7%	公務員	5.4%	団体職員	4.4%	その他(主婦・年金生活者など)	17.8%	不明	2.5%				

1. 暮らし向きや消費について

(1) 現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては「普通」が71.2%と最も多く、次に「悪い」19.4%（「悪い」と「どちらかという悪い」の合計）、「良い」9.4%（「良い」と「どちらかという良い」の合計）の順となった（図表1）。その結果D.I.は▲10.0となり、前回調査（2019年4月）の6.9から16.9ポイント悪化した。4期ぶりのマイナス圏となり、2012年4月の調査開始以来、最低となった。

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、景気悪化の懸念の高まりから消費マインドは冷え込んでいる。収入減少への不安が高まる一方、食費などの支出増加が家計を圧迫していることを受け、現在の暮らし向きに対する見方は厳しい結果となった。

D.I.を年代別にみると、30代以上の全ての年代でマイナスとなっている（図表2）。また、20代以上で前回調査から大きく悪化した。

(2) 今後の暮らし向き

今後の暮らし向きについては「変わらない」が49.6%と最も多く、次いで「悪くなる」44.4%（「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計）、「良くなる」6.0%（「良くなる」と「やや良くなる」の合計）の順となった（図表3）。D.I.は▲38.4となり、前回調査の▲21.2から17.2ポイント悪化した。依然としてマイナス圏内で推移しており、現在の暮らし向きと同じく調査開始以来、最低だった。また、現在の暮らし向きよりさらに見方は厳しい結果となった。D.I.を年代別にみると、20代以上の全ての年代でマイナスとなった（図表4）。特に働き手の多い20～50代や70代以上で前回調査より大きく悪化しており、先行きに対する不安が強いことがうかがえる。

将来の不安要素については、「年金問題」が43.7%と最も多く、以下、「税金・社会保障の負担増」(41.8%)、「収入減」(38.4%)の順となっている(図表5)。年代別にみると、20代と70代以上は「年金問題」、30~40代は「税金・社会保障の負担増」、50代は「収入減」、60代では「医療・介護費の負担増」が最多となっている。

(3) 収入

1年前と比較した収入は「変わらない」が58.0%と最も多く、次いで「減った」23.0%（「減った」と「やや減った」の合計）、「増えた」19.0%（「増えた」と「やや増えた」の合計）の順となった(図表6)。D.I.は▲4.0と前回調査から8.0ポイント悪化した。

D.I.を年代別にみると、20代と40~60代で前回調査より悪化した(図表7)。

また、**今後の収入の増減**については「変わらない」が53.8%と最も多く、次いで「減る」37.1%（「減る」と「やや減る」の合計）、「増える」9.1%（「増える」と「やや増える」の合計）となり、D.I.は▲28.0だった(図表8)。

年代別にみると、20代以上では全てマイナスになり、年代が上がるにつれてマイナス幅も拡大する傾向がみられた(図表9)。特に中高年層で先行きの収入に対する不安が大きいことがうかがえる。

(4) 支出

1年前と比較した支出は「変わらない」が46.6%と最も多く、次いで「増えた」41.8%（「増えた」と「やや増えた」の合計）、「減った」11.6%（「減った」と「やや減った」の合計）が続いた(図表10)。D.I.は30.2と前回調査(37.3)から低下し、支出を抑えようとする傾向がうかがえる。

年代別にみると、20~40代でD.I.が低下、10代と50代以上では上昇した(図表11)。

また、**今後の支出の増減**については「増える」(「増える」と「やや増える」の合計)が46.2%と最も多く、次いで「変わらない」が39.4%、「減る」14.4%（「減る」と「やや減る」の合計）となり、D.I.は31.8だった(図表12)。

年代別にみると、全ての年代でD.I.はプラスになり、先行きの支出増加への懸念が大きいことがうかがえる(図表13)。

(5) 新型コロナウイルスの家計支出への影響

新型コロナウイルスの感染拡大以降、家計支出で増えた品目については、「食料品」が56.5%と最も多く、次いで「日用品」(54.1%)、「医薬品」(31.7%)、「水道光熱費」(30.0%)などが続いた(図表14)。一方、**減った品目**については、「外食・交際費」(78.3%)、「交通費・旅費」(45.5%)、「衣服・履物費」(33.6%)などが続いた(図表15)。

外出自粛や休業・休校の影響から在宅時間が増えたことで食料品や日用品といった生活必需品の支出が増加した半面、外食や交通費など外出を伴う支出は大きく減少した。

新型コロナウイルスの感染拡大以降、家計支出で見直したことについて尋ねたところ、「特に何もしていない」が41.0%と最も多く、次いで「食費の節約」(33.6%)、「日用品の節約」(24.6%)などが続いた(図表16)。食料品や日用品といった着手しやすい生活必需品の支出見直しにより、生活を防衛しようとする傾向がうかがえる。

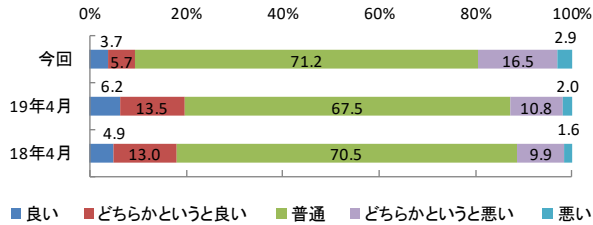
以上

【本件に関するお問い合わせ】 株九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)

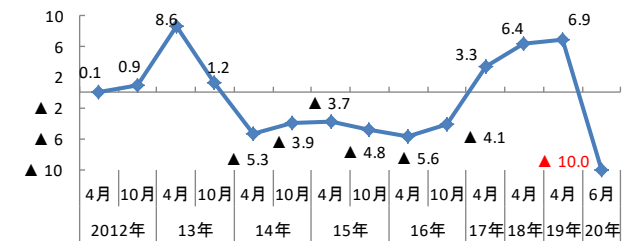
図表1 現在の暮らし向き

項目	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良い	4.9	6.2	3.7	▲ 2.5
どちらかというが良い	13.0	13.5	5.7	▲ 7.8
普通	70.5	67.5	71.2	3.7
どちらかというが悪い	9.9	10.8	16.5	5.7
悪い	1.6	2.0	2.9	0.9
D. I.	6.4	6.9	▲ 10.0	▲ 16.9

上記をグラフ化



現在の暮らし向きD.I.の推移



注) 16年までは年2回調査実施、17年以降は年1回調査に変更。図表11まで同じ。

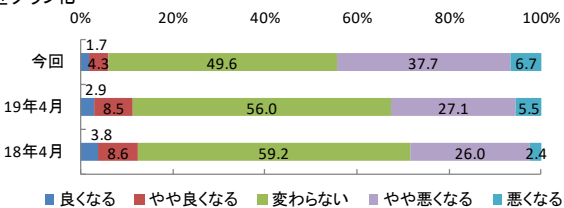
図表2 現在の暮らし向きD. I. (年代別)

年代	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	6.4	6.9	▲ 10.0	▲ 16.9
10代	20.0	16.7	20.0	3.3
20代	25.6	27.6	11.3	▲ 16.3
30代	6.4	8.5	▲ 11.3	▲ 19.8
40代	3.0	2.2	▲ 19.0	▲ 21.2
50代	▲ 7.9	▲ 7.0	▲ 20.6	▲ 13.6
60代	8.0	3.4	▲ 10.4	▲ 13.8
70代以上	6.7	6.2	▲ 8.0	▲ 14.2

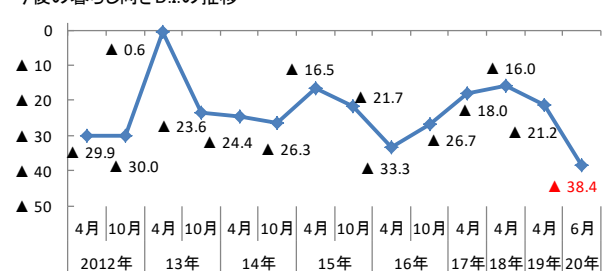
図表3 今後の暮らし向き

項目	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良くなる	3.8	2.9	1.7	▲ 1.2
やや良くなる	8.6	8.5	4.3	▲ 4.2
変わらない	59.2	56.0	49.6	▲ 6.4
やや悪くなる	26.0	27.1	37.7	10.6
悪くなる	2.4	5.5	6.7	1.2
D. I.	▲ 16.0	▲ 21.2	▲ 38.4	▲ 17.2

上記をグラフ化



今後の暮らし向きD.I.の推移

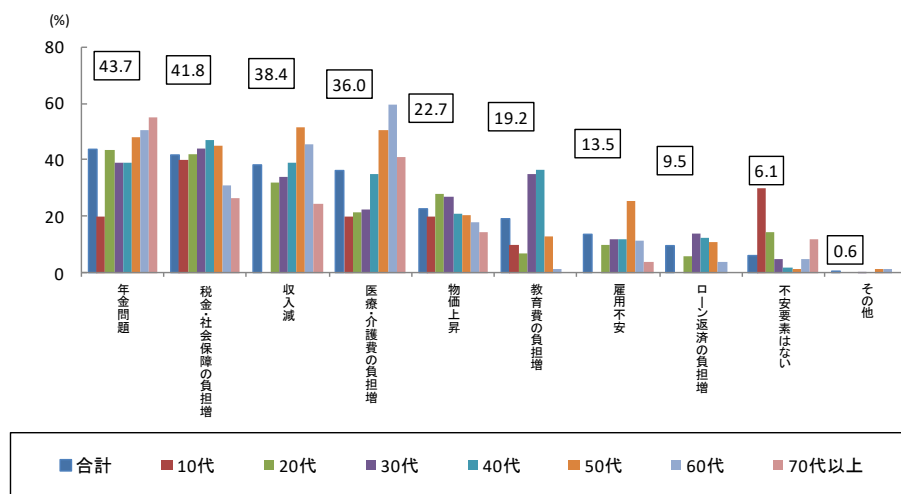


図表4 今後の暮らし向きD.I.(年代別)

年代	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲ 16.0	▲ 21.2	▲ 38.4	▲ 17.2
10代	0.0	0.0	30.0	30.0
20代	8.8	0.6	▲ 11.4	▲ 12.0
30代	▲ 11.2	▲ 15.8	▲ 27.0	▲ 11.2
40代	▲ 13.1	▲ 23.0	▲ 50.0	▲ 27.0
50代	▲ 35.1	▲ 30.8	▲ 60.6	▲ 29.8
60代	▲ 34.4	▲ 43.6	▲ 46.8	▲ 3.2
70代以上	▲ 34.5	▲ 31.3	▲ 42.8	▲ 11.5

注) 図表によっては四捨五入の関係上、合計が100にならない場合がある。

図表5 将来の不安要素



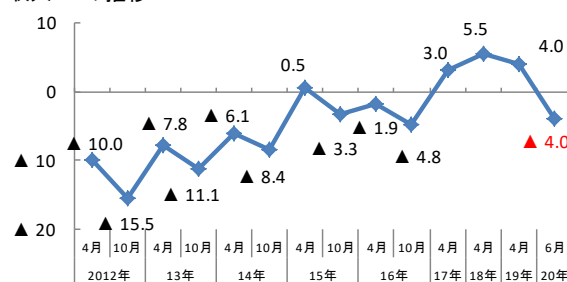
注) 複数回答、数値は全体

図表6 収入(1年前比、前回までは半年前比)

項目	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた			4.3	
やや増えた	17.2	16.9	14.7	2.1
変わらない	71.1	70.2	58.0	▲ 12.2
やや減った	11.7	12.9	18.4	10.1
減った			4.6	
D. I.	5.5	4.0	▲ 4.0	▲ 8.0

注) 今回調査から「やや増えた」「やや減った」を追加

収入D.I.の推移



図表7 収入D. I. (年代別)

年代	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	5.5	4.0	▲ 4.0	▲ 8.0
10代	23.1	16.7	60.0	43.3
20代	26.5	28.0	21.8	▲ 6.2
30代	18.1	8.5	10.5	2.0
40代	12.1	10.3	▲ 4.2	▲ 14.5
50代	▲ 11.2	▲ 7.0	▲ 20.5	▲ 13.5
60代	▲ 24.2	▲ 24.4	▲ 32.5	▲ 8.1
70代以上	▲ 40.0	▲ 40.6	▲ 34.0	6.6

図表8 今後の収入 (%)

項目	今回 (%)
増える	1.3
やや増える	7.8
変わらない	53.8
やや減る	28.5
減る	8.6
D. I.	▲ 28.0

図表9 今後の収入D. I. (年代別)

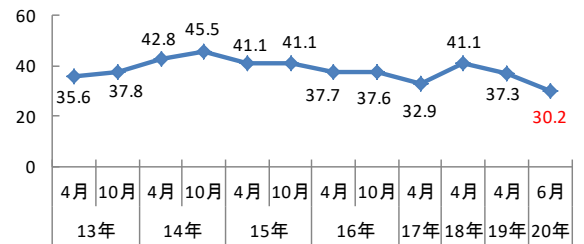
年代	今回
全体	▲ 28.0
10代	40.0
20代	▲ 3.8
30代	▲ 11.2
40代	▲ 27.4
50代	▲ 52.4
60代	▲ 55.1
70代以上	▲ 44.9

図表10 支出(1年前比、前回までは半年前比)

項目	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた			8.6	
やや増えた	46.5	43.7	33.2	▲ 1.9
変わらない	48.0	49.9	46.6	▲ 3.3
やや減った	5.4	6.4	9.1	5.2
減った			2.5	
D. I.	41.1	37.3	30.2	▲ 7.1

注)今回調査から「やや増えた」「やや減った」を追加

支出D.I.の推移



図表11 支出D. I. (年代別)

年代	18年4月	19年4月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	41.1	37.3	30.2	▲ 7.1
10代	33.3	20.0	30.0	▲ 10.0
20代	41.9	43.7	29.3	▲ 14.4
30代	52.9	52.9	39.7	▲ 13.2
40代	52.8	44.8	36.8	▲ 8.0
50代	33.1	25.9	28.0	2.1
60代	13.8	16.1	18.2	2.1
70代以上	16.6	0.0	8.0	8.0

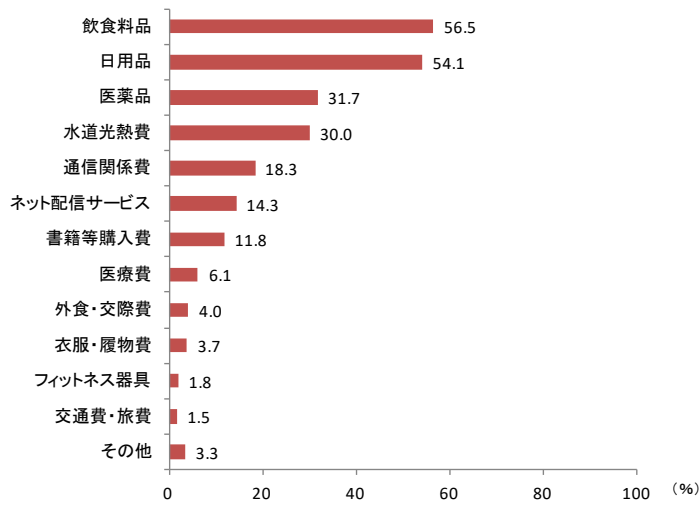
図表12 今後の支出 (%)

項目	今回
増える	11.0
やや増える	35.2
変わらない	39.4
やや減る	11.8
減る	2.6
D. I.	31.8

図表13 今後の支出D. I. (年代別)

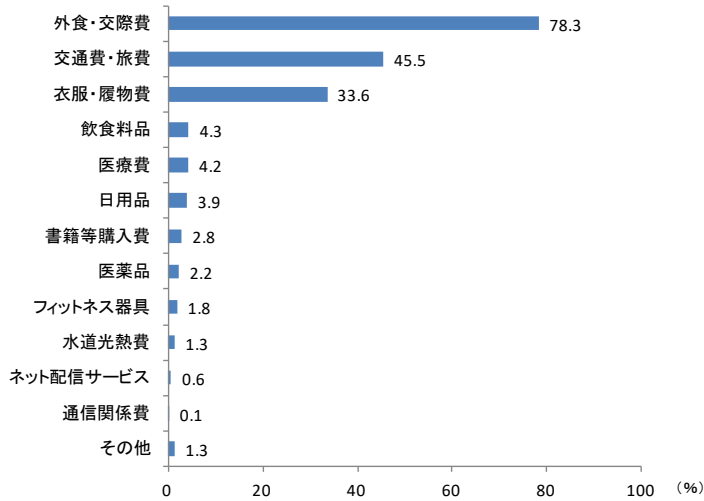
年代	今回
全体	31.8
10代	30.0
20代	27.8
30代	47.6
40代	42.4
50代	30.8
60代	3.9
70代以上	10.4

図表14 新型コロナウイルス感染拡大以降、増えた支出品目



注)複数回答、以下同じ

図表15 新型コロナウイルス感染拡大以降、減った支出品目



図表16 新型コロナウイルス感染拡大以降、家計支出で見直したこと

